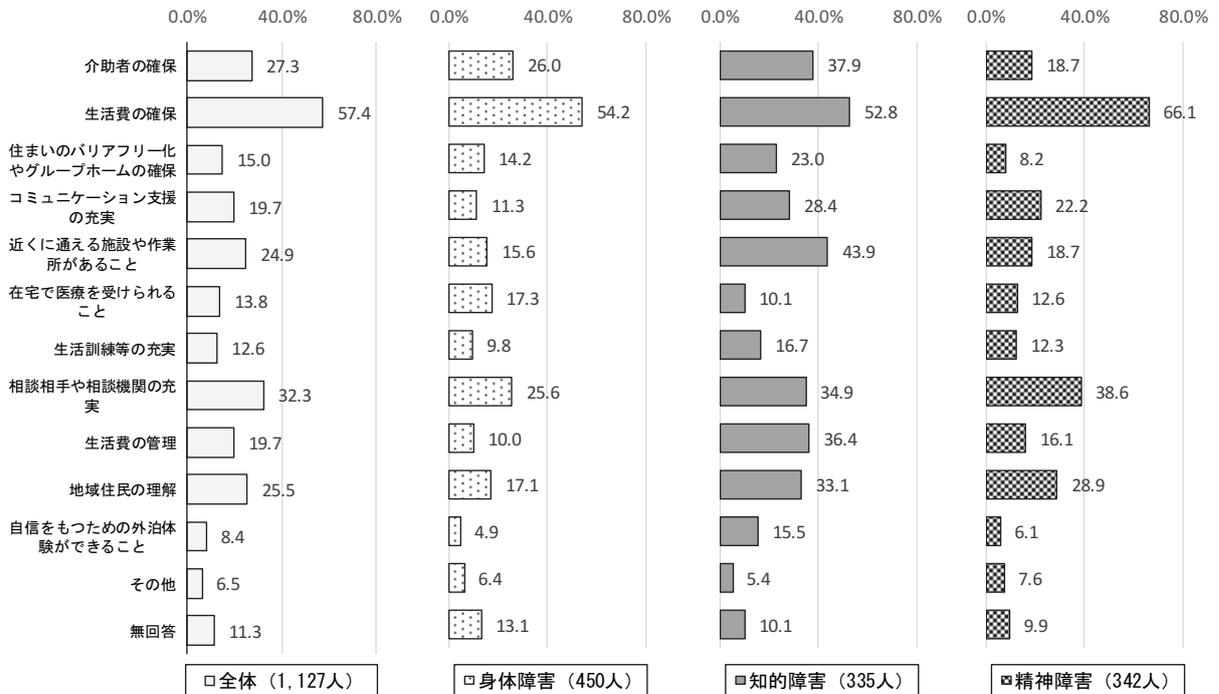


(3) 地域で暮らす条件としての希望

地域で暮らす条件として、「生活費の確保」が身体障害で54.2%、知的障害で52.8%、精神障害で66.1%と、いずれの障害においても最も上位にあげられています。

地域で暮らす条件(複数回答)

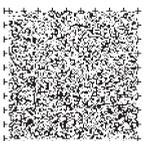


3. 福祉サービスについて

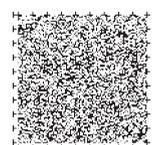
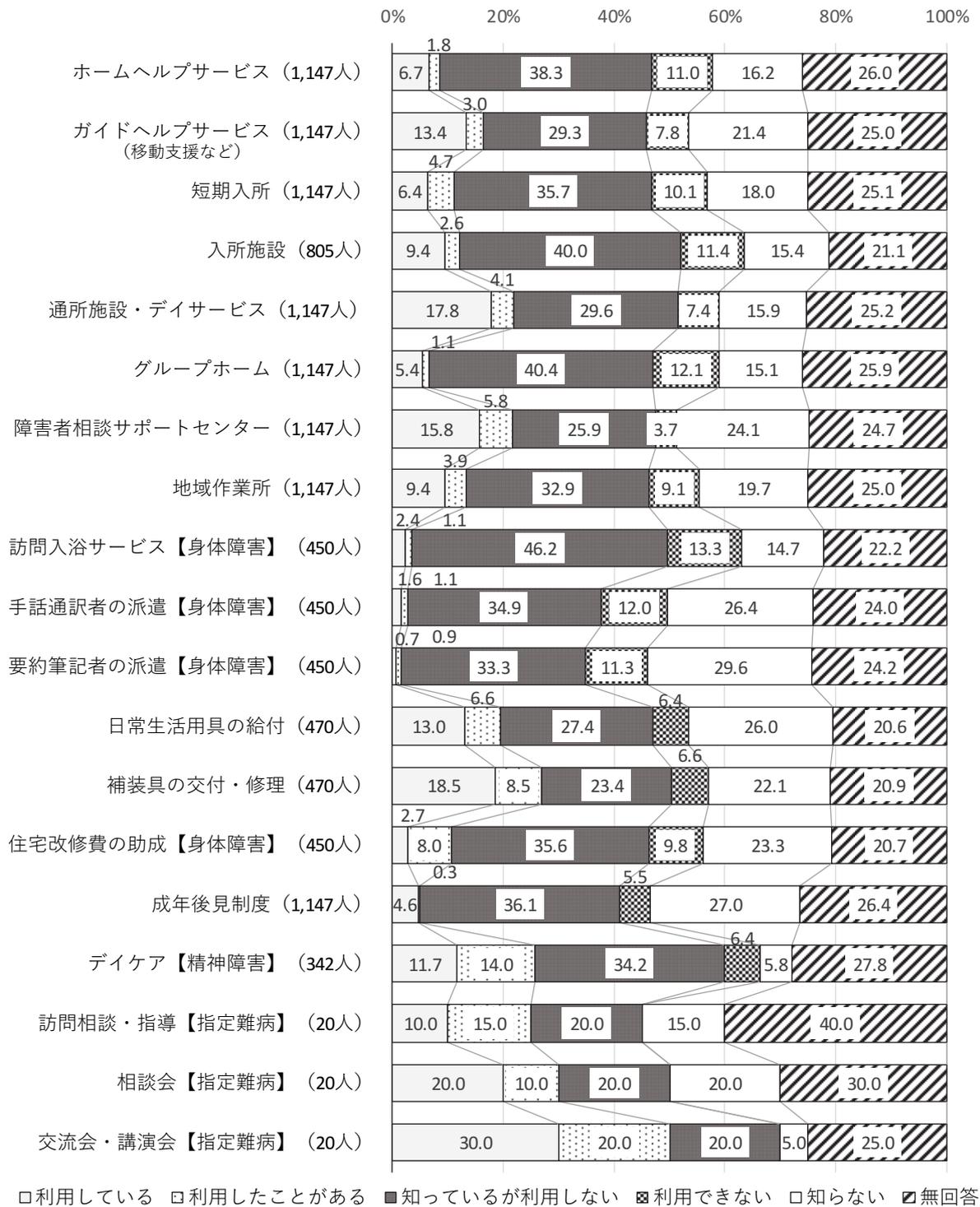
(1) 福祉サービスの利用状況

福祉サービスの利用状況は次頁の通りです。

対象者の5%以上の方が利用している福祉サービスは、交流会・講演会【指定難病】(30.0%)、相談会【指定難病】(20.0%)、補装具の交付・修理(18.5%)、通所施設・デイサービス(17.8%)、障害者相談サポートセンター(15.8%)、ガイドヘルプサービス(13.4%)、日常生活用具の給付(13.0%)、デイケア【精神障害】(11.7%)、訪問相談・指導【指定難病】(10.0%)、入所施設(9.4%)、地域作業所(9.4%)、ホームヘルプサービス(6.7%)、短期入所(6.4%)、となっています。



福祉サービスの利用状況



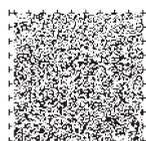
(2) 福祉サービスの満足度（利用経験のある方）

福祉サービスの満足度は次頁の通りです。

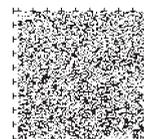
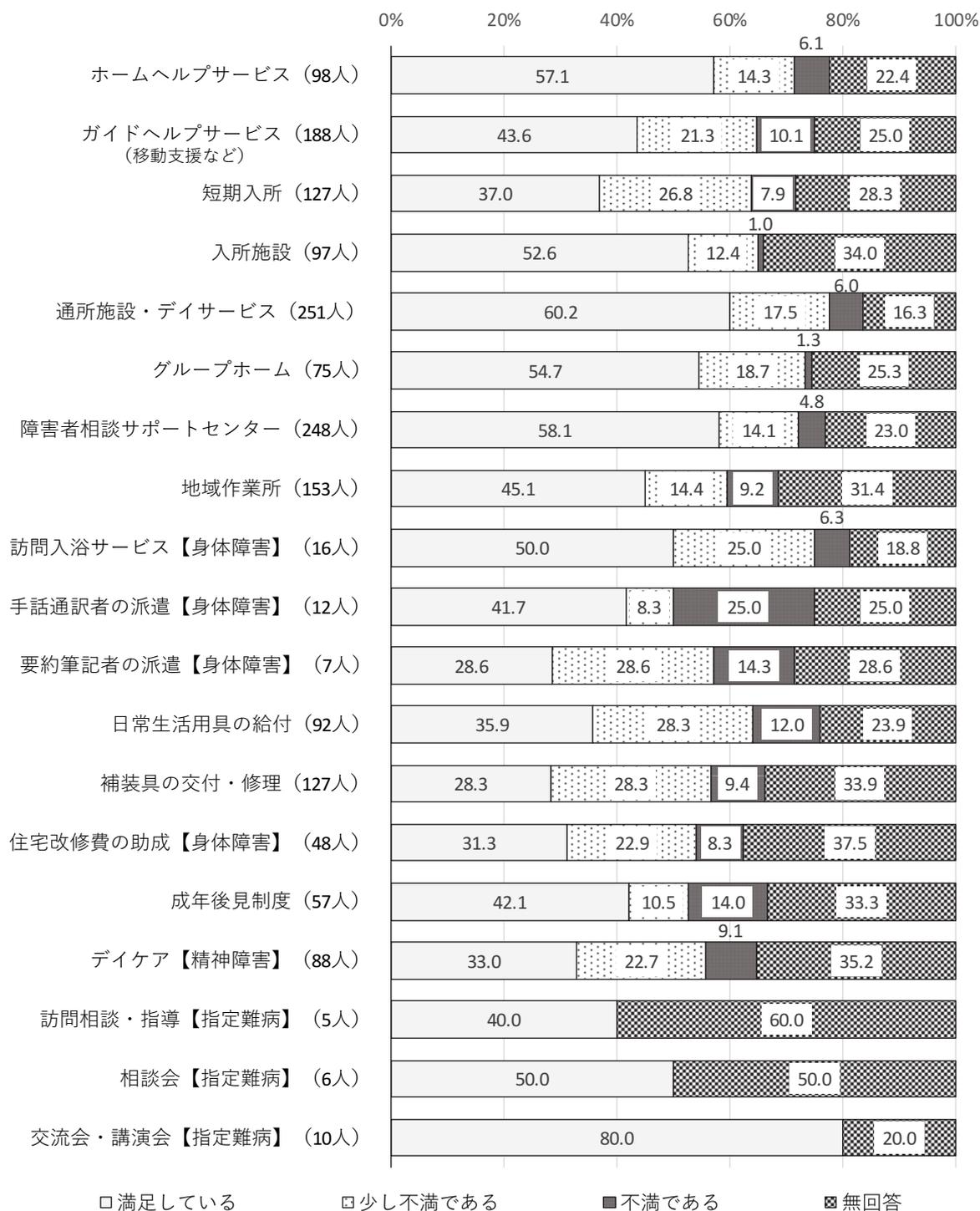
19のサービスのうち15のサービスにおいて、「満足している」が、「少し不満である」と「不満である」を合わせた割合より高く、満足度の高いサービスが多いことがわかります。

中でもホームヘルプサービス、入所施設、通所施設・デイサービス、グループホーム、障害者相談サポートセンター、地域作業所は「満足している」が、「少し不満である」と「不満である」を合わせた割合より20ポイント以上高くなっています。

要約筆記者の派遣、日常生活用具の給付、補装具の交付・修理、住宅改修費の助成では、「満足している」より「少し不満である」と「不満である」を合わせた割合の方が高く、満足度が低くなっています。



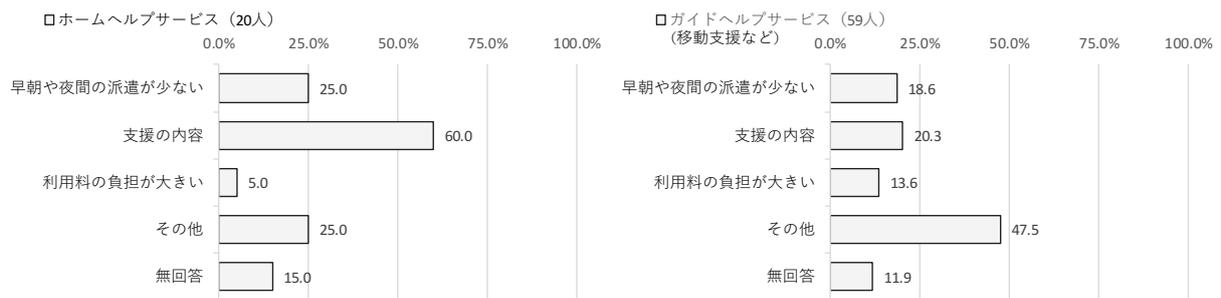
福祉サービスの満足度（利用経験のある方）



(3) 不満である理由（「不満である」または「少し不満である」方）

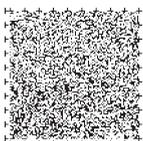
福祉サービスの利用における主な不満の内容を見ると、ホームヘルプサービスでは「支援の内容」、短期入所では「緊急時に使いにくい」や「土日や夏休みなどに予約が重なって使えないことがある」、障害者相談サポートセンターでは「何を相談してよいかわからない」、地域作業所では「作業の内容が自分に合わない」、訪問入浴サービスでは「利用回数」、手話通訳者の派遣では「早朝や夜間の派遣が少ない」、日常生活用具の給付と補装具の交付・修理では「自由に買い換えられない」、住宅改修費の助成では「対象となる工事の範囲」や「助成を受けられる回数」、成年後見制度では「支援の内容」、デイケア【精神障害】では「自分に合うプログラムがない」ことがあげられています。

不満である理由（「不満である」または「少し不満である」方）

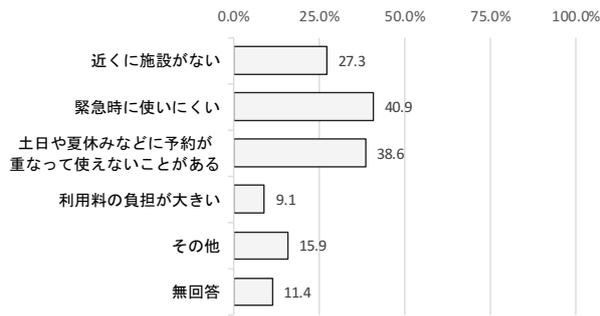


「その他」不満の理由	件数
サービス時間が不十分	3
サービス提供内容が不十分	2
人手不足	1
ヘルパーの質	1
利用できる事業所が少ない	1

「その他」不満の理由	件数
人手不足	12
サービス時間が不十分	5
ヘルパーの質	3
予約ができない	3
利用できない時間帯	3
急に必要になった時に利用できない	2
利用できる事業所が少ない	2
サービス提供不足	1
作業に不満	1
利用できない対象	1
利用への不安	1

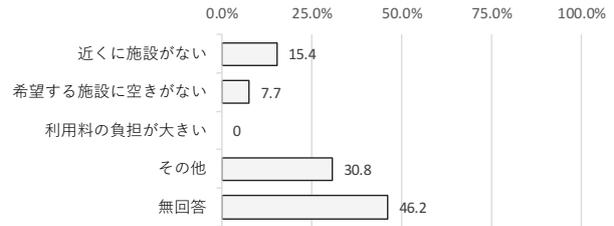


□短期入所（44人）



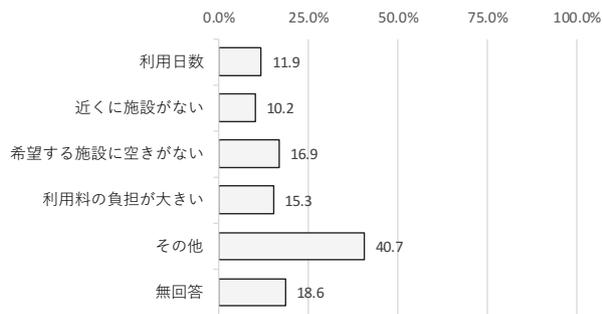
「その他」不満の理由	件数
予約ができない	5
サービス利用日数が不足	1
施設の差	1
人手不足	1
利用したくない	1
利用できない対象	1

□入所施設（13人）



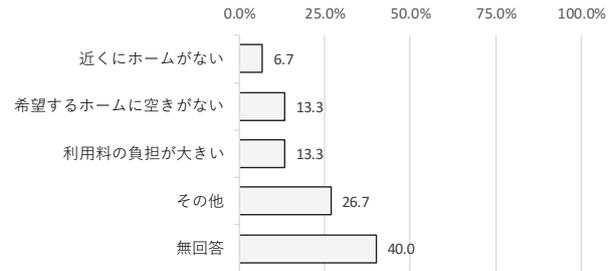
「その他」不満の理由	件数
行動の制限	3
施設利用の不慣れ	1
職員の質	1
設備が古い	1
遠い	1
人手不足	1
余暇活動が不十分	1

□通所施設・デイサービス（59人）

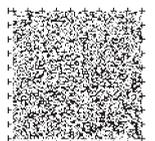


「その他」不満の理由	件数
サービス提供内容が不十分	7
職員の質	5
サービス時間が不十分	3
人間関係による	3
予約ができない	3
楽しくない	2
利用できない対象	2
利用への不安	2
就職に結びつかなかった	1
手続きの負担	1
遠い	1
人手不足	1
負担額	1
利用できなくなった	1

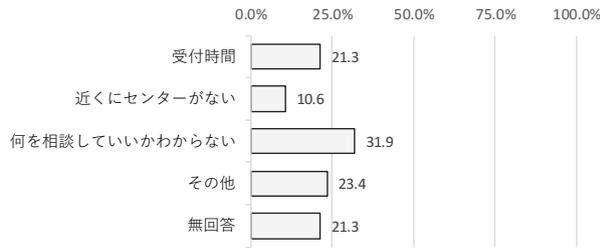
□グループホーム（15人）



「その他」不満の理由	件数
利用できない時間帯	3
サービス提供内容が不十分	2
人手不足	1

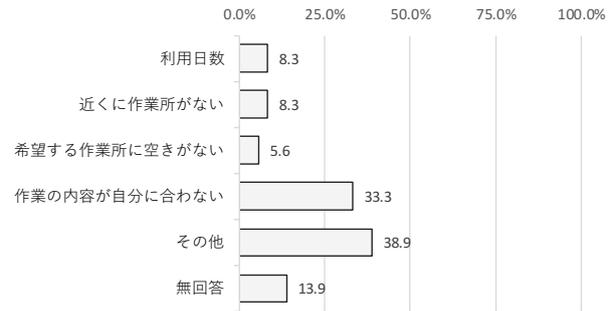


□障害者相談サポートセンター（47人）



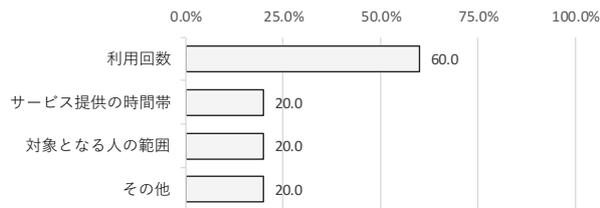
「その他」不満の理由	件数
サービス提供内容が不十分	7
職員の質	2
利用できない時間帯	2
サービス時間が不十分	1
人間関係による	1
人手不足	1
予約ができない	1
利用への不安	1

□地域作業所（36人）



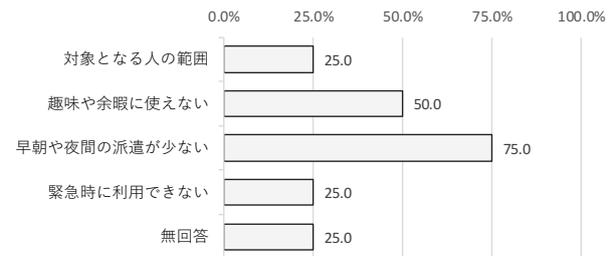
「その他」不満の理由	件数
人間関係による	4
工賃が安い	3
職員の質	3
サービス時間が不十分	2
負担が大きい	2
作業場が合わない	1

□訪問入浴サービス【身体障害】（5人）

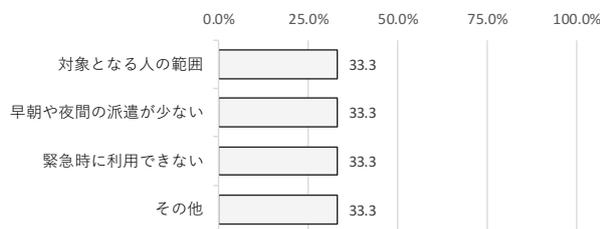


「その他」不満の理由	件数
サービス提供内容が不十分	1
利用環境	1

□手話通訳者の派遣【身体障害】（4人）

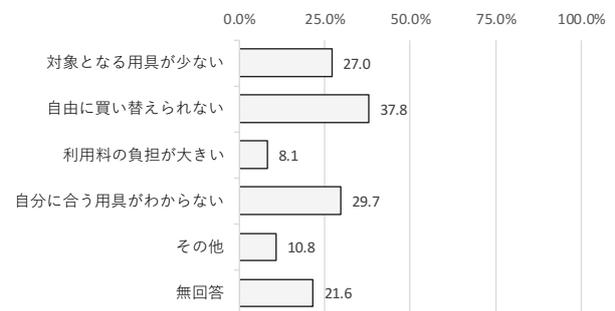


□要約筆記者の派遣【身体障害】（3人）

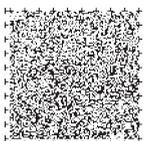


「その他」不満の理由	件数
教育現場	1

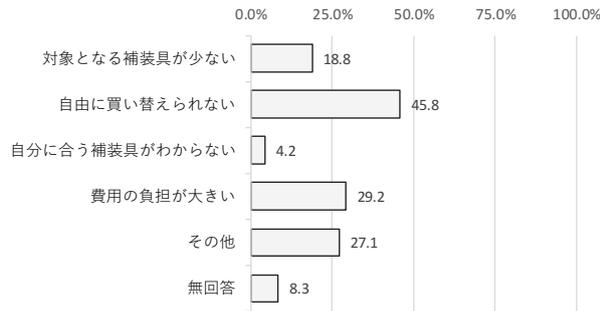
□日常生活用具の給付（48人）



「その他」不満の理由	件数
サービス提供内容が不十分	2
利用できない対象	2
壊れる	1

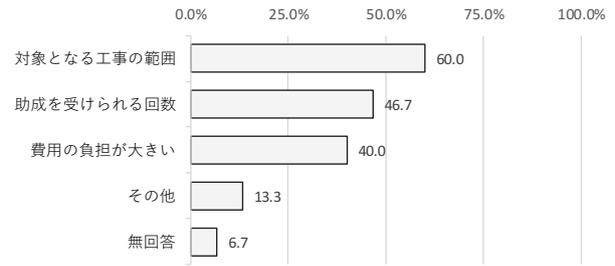


□補装具の交付・修理（48人）



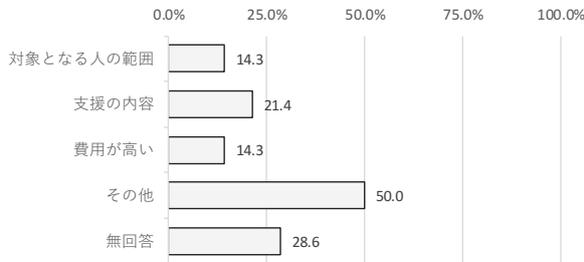
「その他」不満の理由	件数
手続きの負担	4
壊れる	3
自分に合わない	2
サービス提供内容が不十分	1
障害への理解不足	1
利用できない対象	1

□住宅改修費の助成【身体障害】（15人）



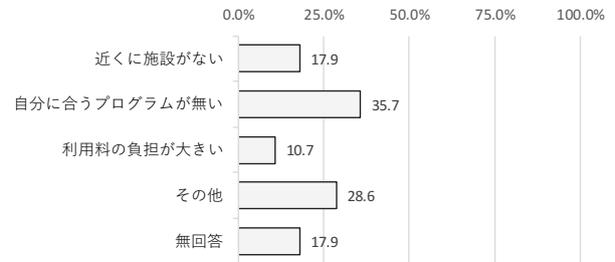
「その他」不満の理由	件数
サービス提供内容が不十分	1

□成年後見制度（14人）



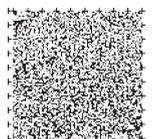
「その他」不満の理由	件数
費用が高い	3
負担が大きい	3
状況が分からない	2

□デイケア【精神障害】（28人）



「その他」不満の理由	件数
人間関係による	6
サービス提供内容が不十分	2
楽しくない	2
予約ができない	1

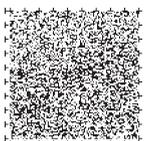
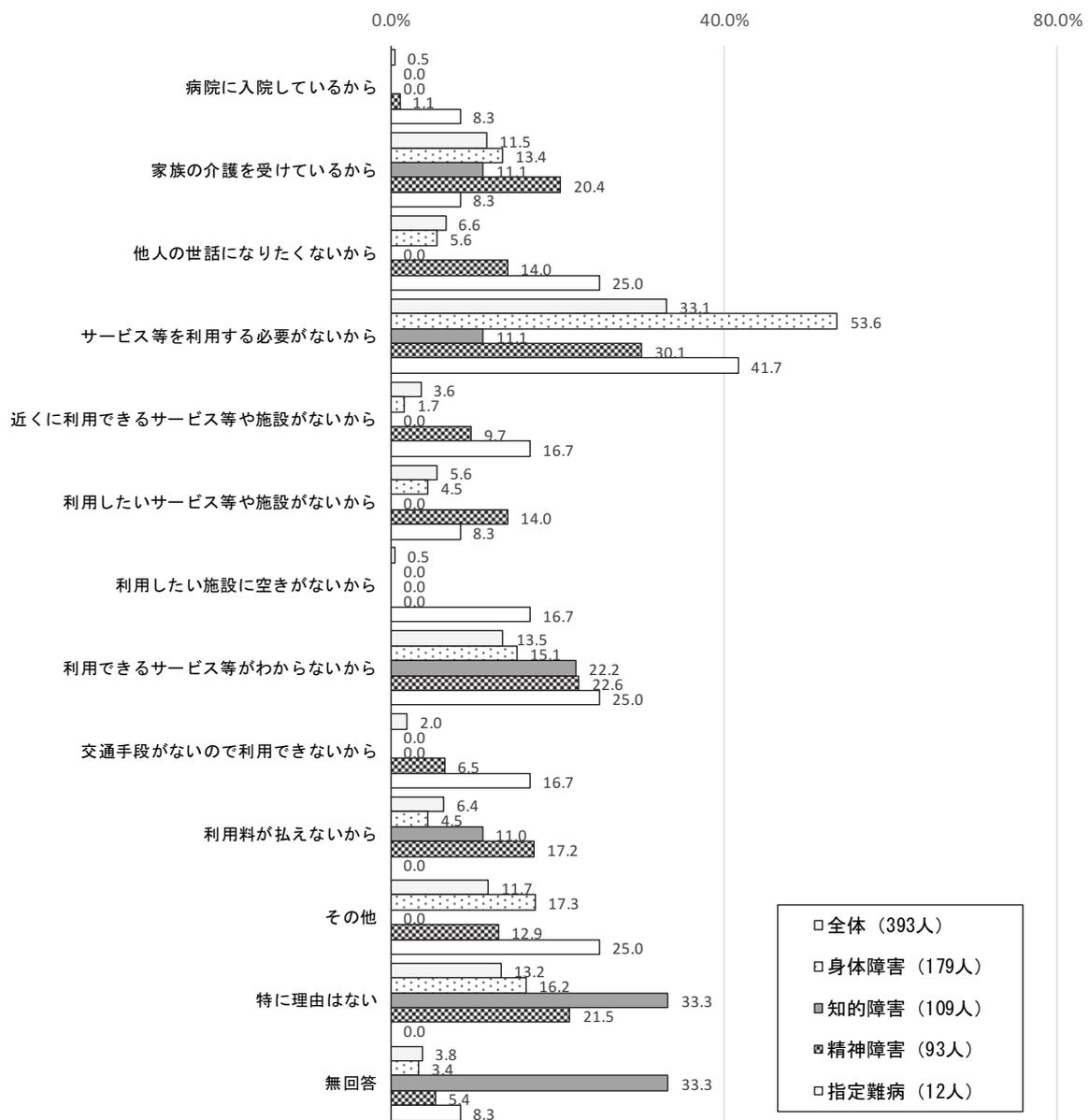
※その他の内容について、1件につき複数の意見が記載されており、「その他」件数と不満の理由の件数は一致しない。



(4) 福祉サービスを利用していない理由

福祉サービスを利用していない理由で最も多いのは、「サービス等を利用する必要がないから」(33.1%)となっています。特に身体障害では「サービス等を利用する必要がないから」とする人が53.6%を占めています。また、知的障害も「サービス等を利用する必要がないから」(11.1%)が最も多く、精神障害では「利用できるサービス等がわからないから」(22.6%)が「サービス等を利用する必要がないから」(30.1%)と同等に多くなっています。

サービスを利用していない理由、障害別(複数回答)

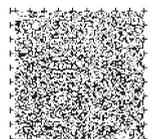


(5) 今後の福祉サービスの利用希望

今後利用したい福祉サービス等は、身体障害では「補装具の交付・修理」(23.8%)、知的障害では「グループホーム」(34.9%)、精神障害では「相談・情報提供などのサービス」(34.5%)、指定難病では「交流会・講演会」(45.0%)の割合が最も高くなっています。

「相談・情報提供などのサービス」は、身体障害(23.8%)、知的障害(31.0%)、指定難病(40.0%)でも多くあげられています。

また、知的障害では「ガイドヘルプサービス」(31.0%)、「通所施設・デイサービス」(28.7%)、「入所施設」と「短期入所」(26.9%)、「成年後見制度」(23.6%)の割合も高く、多くのサービスへの利用意向が見られます。



今後利用したいサービス、障害別(複数回答)

